

令和6年大岡越前祭俳句大会第二部表彰者一覧表

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順位																				
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	入選	茅ヶ崎俳句連盟 会長賞	茅ヶ崎俳句連盟 会長賞	茅ヶ崎市文化団体 協議会会長賞	賞																				
10	10	10	10	11	11	11	12	12	12	12	13	13	14	14	14	15	19	23	25	総得点																				
4	6	3	7		10	4	6	1	10	5	6	4	7	5	7	1	11	3	9	5	7	2	11	6	7	4	10	1	13	2	12	4	11	3	16	4	19	9	16	得点
37	111	6	78		142	145	50	138	40	66	160	54	83	114	45	61	147	47	110	81	14	140	58	12	90	183	127	36	137	96	11	18	188	88	5	24	99	129	180	句番
師の影を踏んで吟行春の風	春眠の覚めてこの世に四肢伸ばす	春風や空をまどかに鶯の笛	木も岩も神にする国花の雨		卓袱台や丸く治まる昭和の日	花吹雪ああ極上の樹木葬	春風や駿馬のひとみ濡れていし	菜の花や海に日かげと日表と	干し竿に家族泳がす春の風	人生に終止符はなし春の風	春惜しむ記憶の底の書店の灯	走り根に風も転ぶか春の風	満員の電車を包む春夕焼	解体の柱の記憶昭和の日	春風や網棚に置く旅靴	能登島に二橋かかりぬ春の風	行く春の違へし釦かけ直す	春の風身にあるえぐみ薄めゆく	春耕や土は混声合唱団	里若葉地物づくしの夕餉かな	はじめての老いの坂です春の風	降り立てば纏う風の香卵波かな	春風と交わす内緒の話かな	湖楊さんの声春風に乗りに来る	愁眉なほ解かぬ阿修羅や四月尽	樟若葉反りも負けじの肥後の城	春の風白寿の母のほお紅し	回送のバスと春風過ぎ行けり	春の日を丸く切りとる輪投げかな	つばくらめ風の抜けゆく大広間	春の風母に紅さす納棺師	春風やおんも出たがる嬰の靴	余生なお友居る幸や花あかり	店員の一声で買ふ春シヨール	古都駆くる車夫の背中や春の風	下校児を攫ってゆきぬ春の風	花吹雪墓だけ残る過疎の村	吾が余生今句となる春の風	藤の花雨の雫も房となり	受賞句
横 浜	川 崎	茅ヶ 崎	中 井	海老 名	大 井	茅ヶ 崎	茅ヶ 崎	茅ヶ 崎	横須 賀	小田 原	大 井	茅ヶ 崎	厚 木	茅ヶ 崎	茅ヶ 崎	大 井	茅ヶ 崎	中 井	茅ヶ 崎	住 所																				
渡辺長汀	荒理依子	奥村ゑこ	長谷川昭放	大澤秀子	北村文江	内山良子	東 花梨	金井美るみ	芳賀陽子	田中幸子	石井きよ子	清水吞舟	百武尚美	能勢仲子	坂口和代	中村昌男	日高朝代	尾崎竹詩	岩田かつ子	氏名																				

席題

「春の風」

「当季雑詠」

